

硫黄島

長浜湾と太古の海  
 笹森儀助の『拾島状況録』二八九五(明治二十八年)によれば「長浜湾は沿岸が砂礫で、漁船数十艇を停泊したり陸揚げできる十島中最良の港」だったらしい。その後、戦前にはしげ用の船着場が整い、戦後本格的に港湾整備される。一九七四年に定期船を初接岸させ、さらに整備して現在に至る。

長浜湾には鉄分を含むサビ色の温泉が湧き、島民が「赤にこり」と呼ぶように港を赤く染める。このこりは堤防の整備で濃くなったという。(A)は赤にこりが少ない頃の長浜湾。現在の湾の海底も鉄サビ色で、円錐状の塊や温泉の噴出孔(B)がある。この状態は鉄酸化細菌によって湾の形成後二〇年ほどでできた。

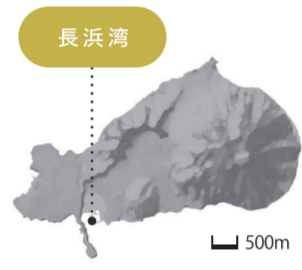
鉄酸化細菌はまた、鉄を含む地層(C)を日々海底に形成している。そして、その地層は現在我々が使う鉄鉱石鉱床(D)の大半と同じものらしい。なお、地球の鉄鉱石鉱床の大半は、約二十三〜二十五億年前、地球の大气が酸素に変わる頃にはできた。

長浜湾が現代の鉄鉱層形成の場であることは、九州大学大学院理学研究員の清川昌一准教授らの研究グループによって発見された。長浜湾は今、太古の海の様子を仔細に観察できる場として世界に注目されている。

思い出話

「まだ港が砂浜だった頃は船の床板を剥がして「トバカン」というサーフィンのような遊びをしていました。サーフィンが世に知られる前の話です。」

硫黄島地区八〇代男性



12

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1 旧 11/8	2 旧 11/9	3 旧 11/10
4 旧 11/11	5 旧 11/12	6 旧 11/13	7 旧 11/14	8 旧 11/15 ○ 満月	9 旧 11/16	10 旧 11/17
11 旧 11/18	12 旧 11/19	13 旧 11/20	14 旧 11/21	15 旧 11/22	16 旧 11/23 ● 下弦	17 旧 11/24
18 旧 11/25	19 旧 11/26	20 旧 11/27	21 旧 11/28	22 旧 11/29	23 旧 12/1 ● 新月	24 旧 12/2
25 旧 12/3	26 旧 12/4	27 旧 12/5	28 旧 12/6	29 旧 12/7	30 旧 12/8 ● 上弦	31 旧 12/9